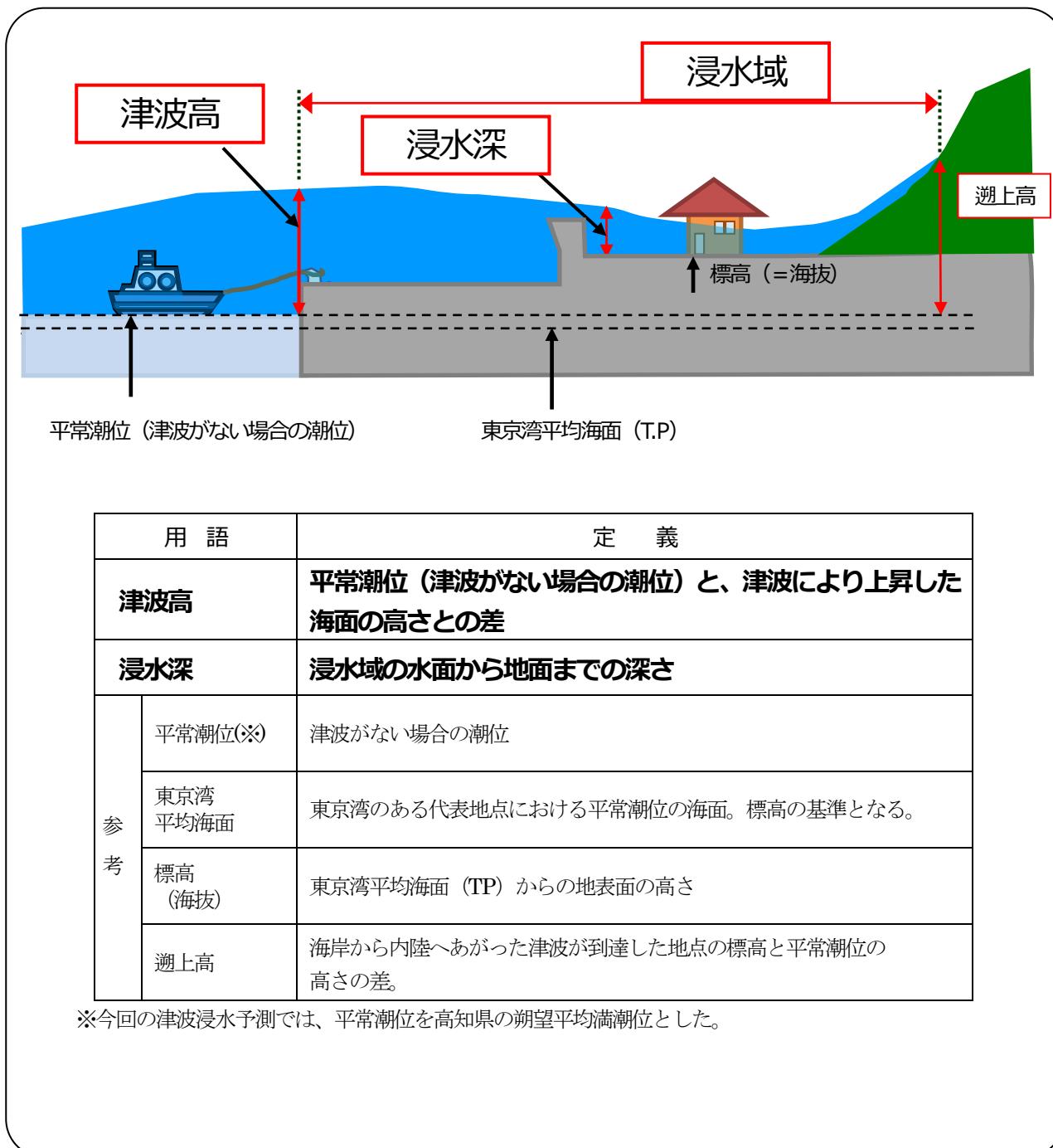


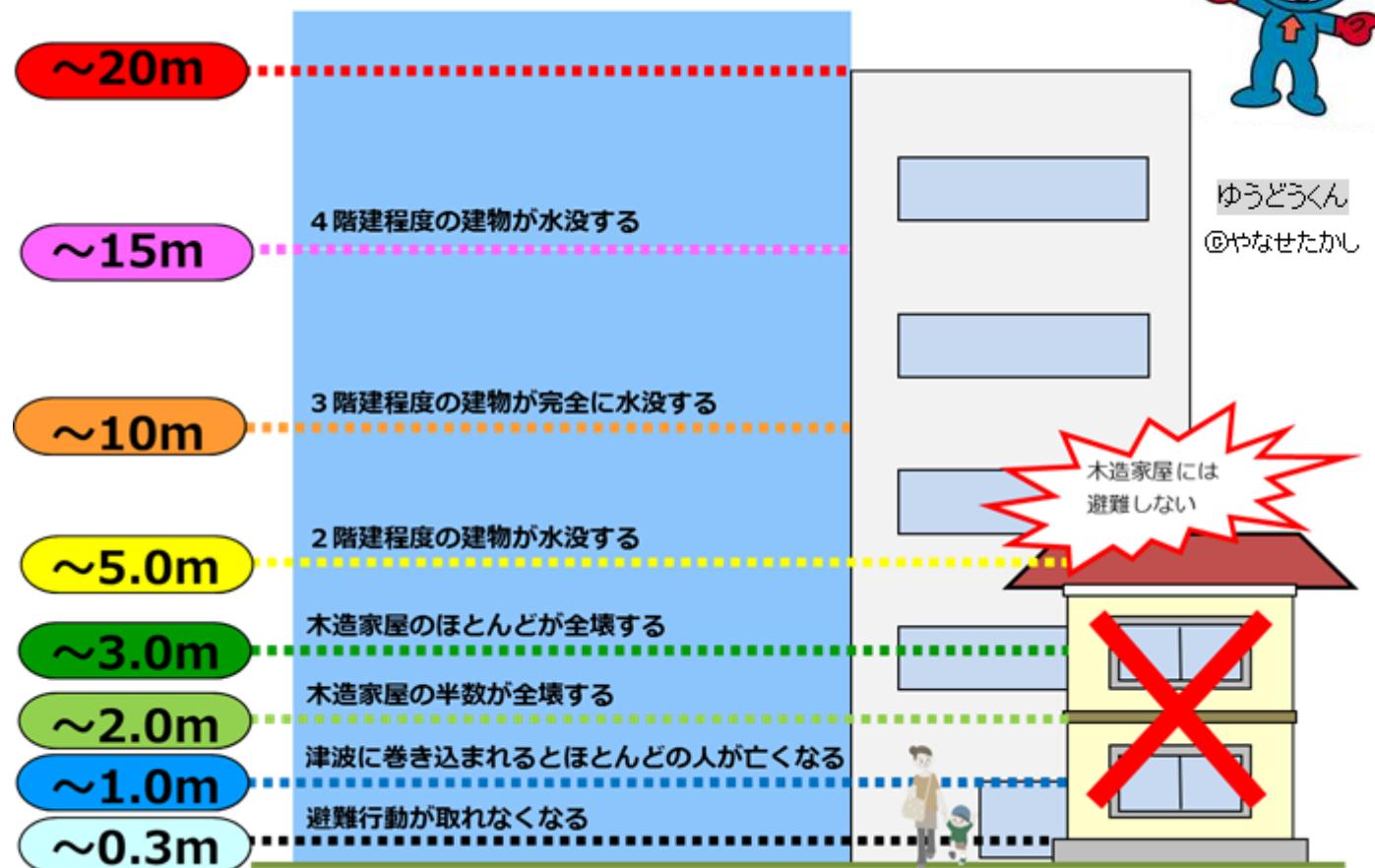
6-1 説明

(1) 基本用語について



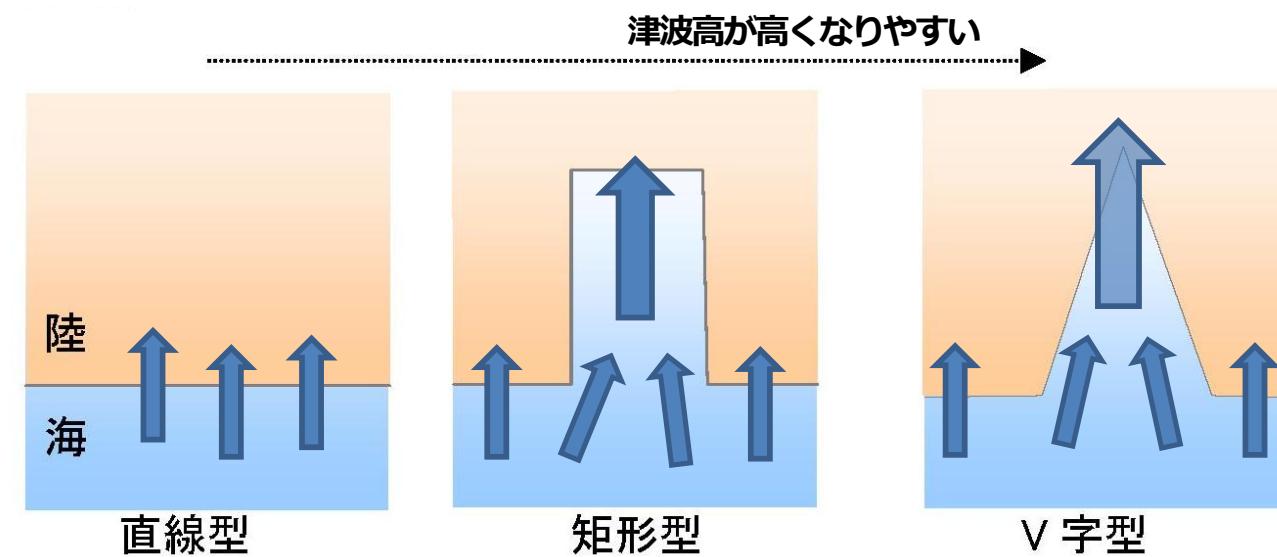
(2) 浸水深の目安

自分の命を守るために、最善を尽くすんだぞー
少しでも安全な場所に避難だぞー

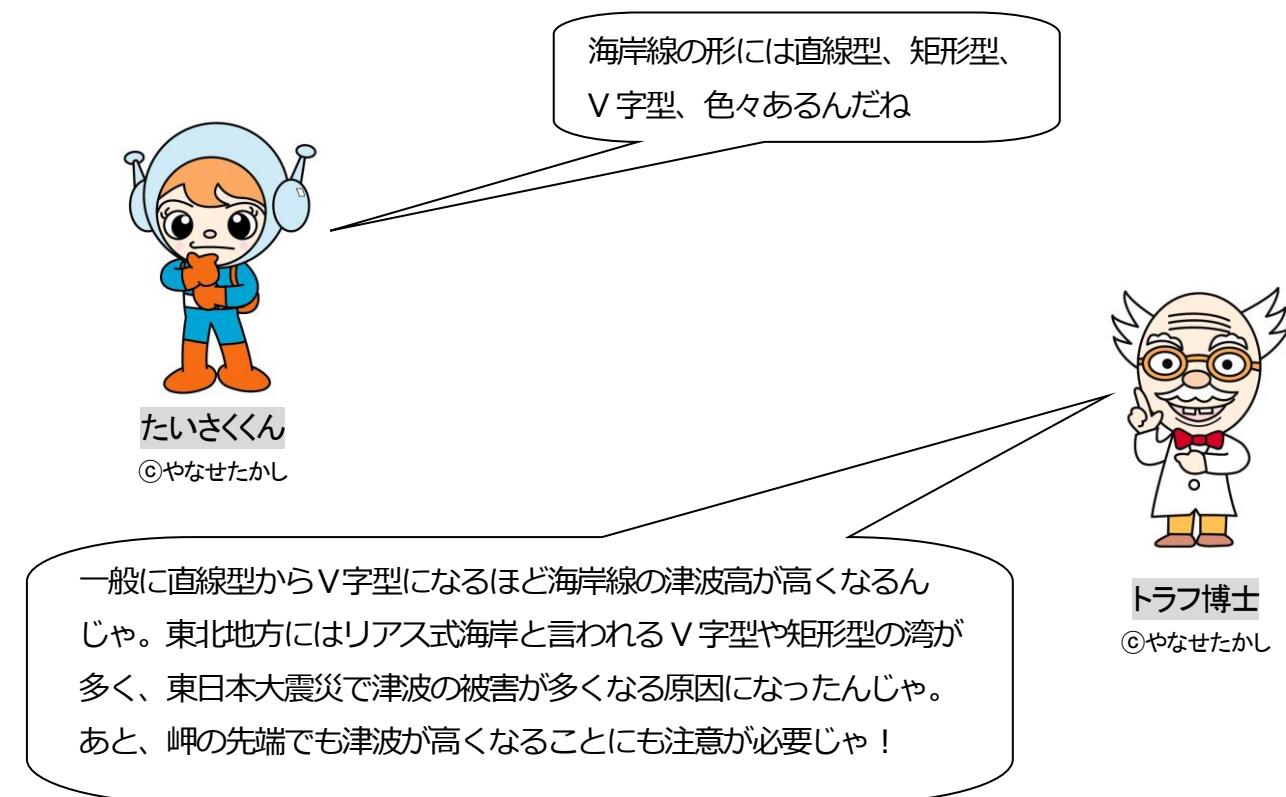


※ 内閣府（防災担当）、南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）追加資料（津波の推計結果の活用にあたっての留意点等、2012.8.29）

(3) 海岸線の形と津波高の傾向（平面図）



※出典：津波の基礎知識（日本気象協会）



(4) 津波浸水深時間変化図の見方

場所ごとに、どんな津波が時間を追って来るかをまとめたグラフです。このグラフを見ると、「どのくらいの間、津波から避難をしなければならないか」や、「どのくらいの時間で津波が来て、どのくらいの時間で津波が引く」と想定されているかの目安が分かるほか、

- ① 第1波が最大ではない可能性がある
 - ② 津波は繰り返し押し寄せてくる
 - ③ 地震発生から時間がたってから津波が来ることもある
- ということも分かります。



さらに下の図に示すように、津波の計算では、時間の経過とともに精度が低くなる傾向にあります。したがって、時間が長くなればなるほど、高さの変動の幅が大きくなると覚えておく必要があります。

また、最大クラスの津波でなくても、高知県沿岸に近いところで地震が発生した場合はこれよりも早く津波が到達することもあります。

